

## 斜面防災主任技能者試験の例題

斜面防災主任技能者資格試験の例題を以下に3問掲載します。ご参考にして下さい。

### 必須問題（斜面防災工事に関する一般）の例題

問 地すべりの前兆と思われる現象を発見した際の対応に関する記述のうち、最も適当なものはどれか。

1. 梅雨期において、排水を目的とする横ボーリング工から出てくる水が止まったので、地すべりが収まったと考えボーリング孔を塞いだ。
2. 梅雨期において、地すべり頭部でクラックが発生したのでブルーシートをかけて、地下への雨水の浸透を防ぐように努めた。
3. 融雪期に地すべりの脚部で地面の盛り上がりを見つけたので、土塊の移動エネルギーを小さくするために盛り上がった脚部の土砂を撤去した。
4. 台風通過後に地すべり脚部のコンクリート擁壁にクラックが生じたので、倒壊による災害を防止するために破壊して撤去した。

正解は「2」である。

<解説>

1. 排水を目的とした横ボーリング孔は、原則的に閉塞しない
2. 正解
3. 地すべりブロック脚部の土砂撤去は、地すべりの動きを助長するおそれがあるので原則行わない
4. 地すべり脚部のコンクリート擁壁にクラックが生じてても、撤去することはない

### 選択問題（施工管理）の例題

問1 集水井工の施工に関する記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 送風機、排水ポンプ、昇降機械は毎日点検した。
2. 有害ガス及び酸素濃度測定器は、集水井内で電源を入れ校正を行った上で計測した。
3. 集水井の掘削では、周辺の地盤を緩めないよう、余掘をできるだけ少なく心掛けた。
4. 排土作業と掘削作業の同時施工を行わないようにした。

正解は「2」である。

<解説>

2. 有害ガス及び酸素濃度測定器は、坑内等周辺に有害ガスがあったり、酸欠の環境では校正値が狂い危険なため、必ず新鮮な空気中で電源を入れゼロ校正を行った上で測定する必要がある。

問2 グラウンドアンカー工の施工に関する記述のうち、**最も不適当なもの**はどれか。

1. 削孔工後、孔内のスライムを除去するために清水とエアを用いて孔内洗浄を行った。
2. 注入したグラウトと同程度の性状のグラウトが孔口から排出されるのを確認した後にケーシング内注入を完了した。
3. 頭部処理工において、PC鋼より線の余長を高速カッターで切断した。
4. 定着地盤が亀裂の多い岩盤だったので、ベントナイトによる泥水を用いて削孔工を行った。

正解は「4」である。

<解説>

4. 削孔工は清水の使用を原則とし、グラウトと定着地盤との付着を阻害するベントナイトによる泥水等は使用しない。

#### 参考図書例

地すべり対策技術設計実施要領（平成19年度版）（一社）斜面防災対策技術協会

地すべり防止技術研修テキスト（令和元年度版）（一社）斜面防災対策技術協会

地すべり防止のための水抜きボーリングの実際（2013年12月）土木研究所 他

など